

問1 ヤマト王権が鉄資源を求めて使者を派遣した、中国の当時の王朝を何という？

1. 東晋 2. 北朝 3. 南朝 4. 西魏

問2 中国の歴史書『宋書』に記されている、ワカタケル大王（雄略天皇）と同一人物と考えられる王を何という？

1. 倭王興 2. 倭王武 3. 倭王珍 4. 倭王讃

問3 6世紀半ばに、日本の欽明天皇へ仏像や経典を贈り、仏教を公式に伝えた百済の王は誰？

1. 聖明王 2. 用明天皇 3. 敏達天皇 4. 欽明天皇

問4 古墳の内部に死者の権威を示すために納められた鏡などの品々を何という？

1. 封土 2. 壁画 3. 木棺 4. 副葬品

問5 5世紀ごろ、日本へ移り住み、高度な技術や文化を伝えた人々が由来した朝鮮半島の国家を何という？

1. 百済 2. 任那 3. 新羅 4. 高句麗

問6 熊本県から出土した鉄刀の銘文に漢字が刻まれており、当時の日本で漢字が使われていたことを示す古墳を何という？

1. 大仙陵古墳 2. 江田船山古墳 3. 高松塚古墳 4. 稲荷山古墳

問7 埼玉県稲荷山古墳から出土した鉄剣に、その名が刻まれているヤマト王権の最高権力者は誰？

1. 継体天皇 2. 推古天皇 3. ワカタケル大王 4. 欽明天皇

問8 儒教の伝来とともに日本に広まった、孔子の教えを記した書物を何という？

1. 古事記 2. 千字文 3. 日本書紀 4. 論語

問9 5世紀ごろ、百済の博士として日本に派遣され、漢字とともに儒教を伝えた人物は誰？

1. 弓月君 2. 王仁 3. 恵美押勝 4. 阿知使主

問10 5世紀ごろ、渡来人によって大陸から日本へもたらされた、記録を可能にする文字体系を何という？

1. 儒教 2. 天文暦学 3. 漢字 4. 仏教

問11 古墳の周囲に立て並べられた、当時の権威を示す土製の焼き物を何という？

1. 埴輪 2. 壁画 3. 勾玉 4. 須恵器

問12 古墳時代に輸入された鉄を利用して作られ、農業生産力を向上させた道具を何という？

1. 木製農具 2. 石製農具 3. 青銅製農具 4. 鉄製農具

問13 稲荷山古墳などの出土品に名前が刻まれ、その支配が九州から関東まで及んでいたとされる大王は誰？

1. 継体天皇 2. 欽明天皇 3. ワカタケル大王 4. 推古天皇

問14 大阪府に位置する、日本最大の前方後円墳として世界文化遺産にも登録されている古墳を何という？

1. 大仙古墳 2. 稲荷山古墳 3. 高松塚古墳 4. 江田船山古墳

問15 中国の歴史書に記されている、5世紀頃に南朝へ朝貢を行ったヤマト王権の5人の王をまとめて何という？

1. 小野妹子 2. 倭の五王 3. 聖徳太子 4. 三種の神器

問16 世界遺産にも登録されている、日本最大規模の大仙古墳が位置する都市はどこ？

1. 奈良県天理市 2. 群馬県太田市 3. 岡山県岡山市 4. 大阪府堺市

答え合わせ・解説

問1	答え 3 南朝	ヤマト王権は、中国との外交関係を通じて、その権威を借りることで半島への影響力を強めようとししました。中国へ使者を派遣して朝貢することで、最新の技術や鉄資源を優先的に入手しようとしたのです。当時の中国は南北朝時代であり、南方に位置する「南朝」と主に外交関係を持っていました。
問2	答え 2 倭王武	中国の歴史書である『宋書』には、倭国の王の名前が記されており、その中の「武」は、国内の遺跡から発見された鉄剣の銘文にある「ワカタケル大王（雄略天皇）」のことだと考えられています。これにより、日本の歴史がアジアの国際情勢の中で位置づけられるようになりました。
問3	答え 1 聖明王	聖明王は、外交的な贈り物として仏教の教えを選びました。欽明天皇に献上された仏像や経典は、日本にとって初めて本格的に触れる異国の教えでした。これが日本に初めて正式な宗教としての仏教が根付くきっかけとなりました。
問4	答え 4 副葬品	銅鏡、勾玉（まがたま）、鉄製の武器や農具などが代表的な副葬品です。これらは当時、非常に貴重な宝物や技術の象徴でした。また、墳丘の上には土製の埴輪が並べられ、埋葬された人物の威厳を周囲に示しました。
問5	答え 1 百済	百済から移り住んだ渡来人は、先進的な技術を持った職人や学者、僧侶などでした。彼らは日本の豪族と協力し、土木工事や農具の製作、さらには学問や宗教の導入に多大な貢献をしました。当時のヤマト政権にとって、百済は重要な協力関係にある国でした。
問6	答え 2 江田船山古墳	江田船山古墳からは、金銀象嵌（そうがん）が施された鉄刀が出土しました。その刀には、所有者や当時のヤマト政権の王に関係すると思われる漢字が刻まれていました。これは、5世紀から6世紀にかけて、日本の地方豪族が漢字を読み書きし、ヤマト政権との間で政治的なやり取りを行っていたことを裏付ける重要な史料です。
問7	答え 3 ワカタケル大王	ワカタケル大王は、当時のヤマト王権の最高権力者で、一般に雄略天皇と同一人物であると考えられています。稲荷山古墳の鉄剣に名前が刻まれていることは、当時の王権が東国にまで影響力を持っていたことを強く示しています。
問8	答え 4 論語	『論語』は、家族の絆や社会での礼儀、指導者としての誠実さを説いた書物です。日本に伝わると、漢字の学習教材として活用されるだけでなく、統治者やエリートの道徳的教養として大切にされました。この書物を通じて、日本人は「人としてのあり方」や「社会秩序」という考え方を学びました。
問9	答え 2 王仁	王仁は百済から派遣された博士であり、優れた学識で日本の朝廷に貢献しました。彼が『論語』や『千字文』をもたらしたという伝説は、日本の学問が大陸から本格的に導入されたことの象徴とされています。王仁の存在は、日本人が漢字を習得し、中国の進んだ統治の知恵である儒教を学ぶきっかけとなったとされています。
問10	答え 3 漢字	漢字は、渡来人によって『論語』などの書物とともに日本へ持ち込まれました。初期には、豪族たちが自らの勢力を記録するために鉄刀に名前や文を刻むなどして利用されました。これが後に日本独自の万葉仮名やひらがな・カタカナの誕生へとつながる重要な足がかりとなりました。
問11	答え 1 埴輪	埴輪は粘土で作った土製品で、円筒形や家形、人物、馬などの形をしています。死者を弔うための祭祀の道具として、また埋葬者の権力を周囲に見せつける演出として機能しました。これらを並べることで、墓という空間がより一層格式高いものになったと考えられています。
問12	答え 4 鉄製農具	鉄製の鋤（すき）や鍬（くわ）などの鉄製農具が普及したことで、それまで開墾できなかった硬い土地の耕作が可能になりました。これにより稲作の効率が飛躍的に高まり、収穫量が増加しました。さらに鉄は武器の材料としても使われ、ヤマト王権の軍事力強化にも大きく貢献しました。
問13	答え 3 ワカタケル大王	「ワカタケル大王」の名は、埼玉県と熊本県の古墳から出土した鉄剣・鉄刀に金象嵌で記されています。これは、この大王の権力が東国から九州まで、列島の広範囲に及んでいたことを如実に示しています。一般的には、記紀に見える雄略天皇と同一人物だと考えられています。
問14	答え 1 大仙古墳	大仙古墳（伝仁徳天皇陵）は、墳丘の長さが約486メートルにも及ぶ日本最大の前方後円墳です。三重の濠（ほり）に囲まれた壮大な姿をしており、ユネスコの世界文化遺産にも登録されています。当時の王権が、いかに巨大な労働力や土木技術を動員する力を持っていたかを象徴する遺跡です。
問15	答え 2 倭の五王	記録に残る王は、讃・珍・済・興・武の5人です。特に最後の「武」は、国内から出土する鉄剣の銘文に見られるワカタケル大王と同一人物であると考えられています。彼らは中国皇帝に軍事的な支持を求める使節を送り、国内の権威付けを行いました。
問16	答え 4 大阪府堺市	大阪府堺市にある大仙古墳は、日本最大級の前方後円墳として知られており、周囲の古墳と共に「百舌鳥・古市古墳群」を構成しています。この地域は当時のヤマト王権の中心地に近い場所であり、強大な権力を持った支配者が存在したことを物語っています。